



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### イラン：エネルギー情勢

(3月16日-4月1日付現地各紙)

#### 1. 原油販売収入に関するノーザリ石油大臣の発言 (3月23日)

イラン暦昨年 (2007年3月21日~2008年3月19日) の原油販売収入は、約700億ドルであった。原油生産量は過去2年間日量400万バレルを超えており、現在は日量421万バレルと1979年のイラン革命後の最高記録を更新している。イランの原油輸出量は、日量250万バレルである。

#### 2. サウスピース・ガス田フェーズ12を対象とする IranLNG 計画の液化施設建設契約締結 (3月23日)

(1) コルダン石油次官は、「イランは、IranLNG 計画の液化施設建設に関する7億ユーロ相当の契約を締結した。契約は IranLNG 社を顧客として Farab 社 (イラン) と HFEQ (HuaFu, Engineering Company・中) のコンソーシアム、 PIDECO (イラン) と欧州の多国籍企業のコンソーシアムと締結された。契約は2つのフェーズで実施される予定であり、第一フェーズは31ヵ月、第二フェーズは36ヵ月を要するだろう。IranLNG 計画は2011年1月に操業を開始するだろう」と述べた。

(2) イランは初めての LNG 計画である IranLNG 計画を7つのパッケージに分割し、今回の液化施設計画は未締結となっていた最後の部分である。計画の分割は、43億5千万ドルと推定されているコストを削減する目的で行われた。

(3) IranLNG 計画の各部分を担当する会社は、棧橋は Rah Sahel (イラン)、LNG タンクは大林 (韓)、硫化物除去 (sweetening) プラントは Farab 社 (イラン) (注: 同社の下請けとして Nawavaran 社 (イラン) 及び ASP 社 (伊) が参加しているとされ、ユーティリティー設備は Petro Sanat Maad (イラン)、発電設備は MAPNA 社 (イラン) である。

(4) IranLNG 社の株主は、イラン国営ガス輸出会社 (NIGEC) (49%)、年金基金機構 (Pension Fund Organization) (50%)、年金基金投資機構 (Pension Fund Investment Organization) (1%) である。イランは、IranLNG 計画に関する資金負担を軽減するために OMV (オーストリア) を含む欧州企業との間で株式譲渡に関する協議を行っている。

#### 3. イラン海上石油会社 (IOOC) の生産量について (3月17日 Iran Oil Gas.com)

ジョカール IOOC 生産部長は、「IOOC のイラン暦昨年 (2007年3月21日~2008年3月19日) の原油生産量は、日量72万3千バレルであった。当社は大きなポテンシャルを持っており、将来的には日量100万バレルの生産を達成することを望んでいる」と述べた。

4. ガソリン割当制度の枠外での販売に伴う消費量増加について（4月1日シャナ通信・イラン石油省運営）  
3月19日のイランのガソリン消費量は、ガソリン割当制度の枠外販売に伴って増加して日量9830万リットルとなり、過去最高を記録した。
5. サウパース・ガス田フェーズ17及び18開発コンストラクター関係者発言（16日イラン・デイリー）  
独、スイス、中国企業からなるコンソーシアムは、フェーズ17及び18開発プロジェクトに対して40億ユーロの投資を行う用意があることを表明した。
6. エネルギー持ち株会社の海外株式市場への上場計画（3月17日イラン・ニュース外電 MEED）  
イランは、900億ドル相当のエネルギー持ち株会社をドバイ国際金融取引所（DIFX）に上場することを計画している。DIFXと同時にフランクフルト取引所に上場することを検討している他、アジアの投資家にアピールするためにシンガポール、香港または上海の取引所への上場を検討している。
7. ナブッコ・ガスパイプラインに関するソラナ EU・CFSP 上級代表発言（3月16日）（3月18日付ケイハン・インターナショナル外電引用）  
イランのガスは、ナブッコ・ガスパイプラインに不可欠である。EUとイランの関係においては核問題が最も重要な側面であるが、他の分野が無視されるべきではない。

---

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799